

2024-2025

Global Explorers to Cross Borders

グローバルインターンシップ(G.ecbo)プログラム
ー海外・国内インターンシップー

募 集 要 項
(冬 期)



広島大学

G.ecbo(ジーエクボ) プログラムとは・・・

G.ecboプログラムは、国際社会の中で活躍できる実践的研究者と高度専門職業人の育成を目的として、主に日本国外でのインターンシップを核に実施される大学院特別教育プログラムです。

本プログラムでは、原則全学の大学院生を対象に分野横断的な課題に携わる国際機関、教育・研究機関、政府機関、NGO、開発コンサルタント会社等多様な受入機関へインターンとして1～2か月程度学生を派遣します。このほかECBOプログラムのように、特定の研究科に在籍する学生のみを対象に海外インターンシップを提供する専門ECBOプログラムも実施されています。

本プログラムの詳細については、ホームページ(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo>)を御覧ください。

1 プログラムの概要と研修科目の履修について

本プログラムでは、現地でのインターンシップ活動を通じて得られた体験を、より長期的な観点から実りあるものとするため、インターンシップ派遣の前後に研修を行うサンドウィッチ型教育を採用しています。具体的なプログラムの構成は下表1. のとおりです。

本プログラムへの参加を希望する学生は、原則、①コア科目の履修、②専門科目の履修、赴任前の③リスク管理セミナーへの参加、帰国後の④帰国報告会での成果発表を行うことが義務付けられています。ただし、コア科目や専門科目の取り扱いと具体的な履修科目については、応募学生が所属する研究科によって若干異なります。

表1. G.ecbo プログラムの構成と研修科目

事前研修			海外インターンシップ		事後研修
事前コア科目	専門科目	リスク管理 セミナー	現地研修 /研究活動	現地中間 /最終報告会	帰国報告会
◎	◎	◎	◎	○	◎

◎は原則必須。○は推奨。事前履修科目は担当教員と相談すること。

① コア科目

コア科目は、現地での円滑な活動に必要な課題発見・解決能力とコミュニケーション能力の基礎を形成するために、派遣前に履修すべきものと、現地での活動の振り返りと経験知への深化を目的に帰国後に履修すべきもので構成されています。

各科目・研修の履修時期とプログラム別履修要件については、下表2. のとおりです。

表 2. G.ecbo プログラム・コア科目

(2024年4月現在)

科目群	履修時期	科目名	
演習形式科目群 (正規科目)	事前	1	先進理工系科学研究科開講の『Developing Designing Ability (前期)』または 所属研究科の推薦する代替科目 *1
その他の研修等 (単位なし) *2	事前	2	英語プレゼンテーショントレーニング *2
	事後	3	帰国報告会

*1 本要項 p.5—6 を参照すること。受講が難しい場合は必ず事前に事務局と相談すること。

*2 G.ecboプログラムによる英語発表研修。語学能力に応じ、PPT を用いて派遣前に 2-3 回、帰国後1回実施。履修登録不要。

② 専門科目

専門科目は、現地におけるインターンシップ活動に必要な専門的知識・技術の修得を目的として、派遣前に履修すべき科目のことです。応募者の専門や希望する受入機関での活動によって異なりますので、所属研究室の指導教員や受入機関担当教員とよく相談の上、履修する科目を決定してください。

③ その他

- 上記の科目のほか、海外生活において留意すべき点や海外旅行保険について説明を行う「リスク管理セミナー」への派遣前の研修が必要です。
- インターンシップ参加により、「Global Internship」科目として2単位を取得することが可能です。単位申請手続などの詳細については、国際協力学系支援室/G.ecbo事務局までお尋ねください。
- また、本プログラムでのインターンシップ活動について正規科目として単位認定を申請することが可能な場合があります。単位認定の可否や具体的な手続については、所属研究科の学生支援室にお問い合わせください。
- 博士課程後期学生が本プログラムに参加する場合、英語プレゼンテーショントレーニングと帰国報告会以外の科目の履修、研修への参加は任意となっております。しかしながら、上記に定めた科目・研修或いはそれらと同等な科目・研修を既修していることが期待されています。

2 2024年度海外インターンシップ派遣先

本要項に添付されている別紙1を参照してください。

3 選考方法

- ・応募締切 **2024年10月22日(火) 12:00 正午**
- ・面接(原則英語で実施) 2024年11月7日(木)～11月13日(水)【予定】
- ・結果通知 2024年11月20日(水) 午後【予定】
- ・ガイダンス 2024年11月下旬【予定】

[選考基準] 以下の項目について総合的に審査します。

書類審査:文章力・説得力・目的意識・独自の意見や考え

面接審査:コミュニケーション能力・態度・積極性・社会性・個性・自覚

ただし、受け入れの最終決定は本プログラムからの推薦を受けて受入機関によりなされます。また、派遣国・地域の治安状況や事前研修の習得状況により、プログラム運営委員会が適切でないと判断した場合は、インターンシップを取りやめることがあります。

■提出書類 (オンライン申請フォームに必要書類を添付して申請してください)

①G.ecbo 海外インターンシッププログラム申請書	様式1*
②志望理由書 (英語または日本語で記述, A4 で 1～2 枚程度)	様式2*
③指導教員の承諾書 (事前・事後研修の参加)	様式3*
④英語能力試験の証明書の写し	TOEIC®, TOEFL®, 英検等

⑤『学研災付帯賠償責任保険(学研賠)』又は、『外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(インバウンド付帯学総合)』加入の確認書類	保険料支払い領収書写し等
---	--------------

*様式 1, 2, 3 については, G.ecbo の HP から以下の要領でダウンロードしてください

G.ecbo ホームページ>インターンシッププログラム>G.ecbo海外インターンシップ>提出書類
>プログラム申請時に提出
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/gecbo/application/forms>

4 経費補助・義務 (別紙2を参照してください)

- プログラムの応募者の中から選考された学生のうち日本国外に派遣される者に対しては, 受入機関最寄りの空港までの渡航費【エコノミー利用】について経費補助されます。
- 渡航にかかるビザ等の諸費用や宿泊費, 現地生活費については個人負担となります。ただし, 選考の結果優秀と認められた応募学生については, 滞在費の一部をプログラムから支給します。
- 渡航にかかるビザの取得は, 日本国内で完了してから渡航してください。渡航先での取得は認められません。
- 現地での移動費等諸費用および研究費も原則として本人負担となります。

5 保険の加入

プログラム参加者には、『学研災付帯賠償責任保険(学研賠)』又は、『外国人留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(インバウンド付帯学総合)』に加入することを義務付けています。申請時に加入を確認いたします。

また, 海外インターンシップ滞在時のリスクを最小限とすることを目的として, 派遣前には原則, 大学で包括契約をしている『東京海上日動海外旅行保険』に加入することも義務付けしています。
【保険受付窓口】 留学交流グループ(学生プラザ2F)

6 注意事項

- インターンシップ研修の期間については, 受入先との協議の上で決定します。一旦決定された研修期間は, 派遣国・地域の治安情勢の悪化や病気等のやむを得ない事情以外, 期間の変更は許可されません。
- 選考結果によっては, 本プログラムに併行して, 学内の他の経費支援プログラムへの推薦を打診する場合があります。推薦を受ける場合は, 別途申請書の作成を依頼することがありますのでご了承下さい。
- 事前事後研修や各種ガイダンスへの欠席, 或いは必要提出書類や課題の未提出または大幅な遅延が頻発し, プログラムの遂行が困難と判断された参加学生については, 当該学生の参加を停止の上, 奨学金等返納の対象となる可能性があります。

7 応募申請書提出先及びお問い合わせ

オンライン申請フォームURL: <https://forms.office.com/r/iNtXFgx0zJ>

G.ecboプログラム (グローバル化推進グループ)
E-mail gecbo@hiroshima-u.ac.jp

所属研究科の推薦する代替科目

Alternative Subject Recommended by Graduate School

所属 / 研究科 Affiliation / Graduate School	プログラム Program	授業科目名 Subject Name
人間社会科学研究科 Graduate School of Humanities and Social Sciences	人文学プログラム / Humanities Program	日本文化論演習B(後期) /Seminar on Japan and Culture B (2 nd Semester)
	心理学プログラム / Psychology Program 教師教育デザイン学プログラム / Educational Design for Teacher Educators Program 教育学プログラム / Educational Studies Program 日本語教育学プログラム / Teaching Japanese as a Second Language Program 教職開発プログラム / Professional Development Program for Teachers and School Leaders	Cross Cultural Studies in Education (後期・集中/(2 nd) Inte.)
先進理工系科学研究科 Graduate School of Advanced Science and Engineering	数学プログラム / Mathematics Program, 物理学プログラム / Physics Program, 地球惑星システム学プログラム / Earth and Planetary Systems Science Program, 基礎化学プログラム / Basic Chemistry Program	(1)グローバル対策セミナーA(前期) /English Seminar for Globalization A (1 st Semester) (2)グローバル対策セミナーB(後期) /English Seminar for Globalization B (2 nd Semester) *(1), (2)のいずれか Please select either one of (1), (2).
	量子物質科学プログラム / Quantum Matter Program	(1)コミュニケーション能力開発(2T) /Lecture on Developing Communication Skills (2T) (2)MOTとベンチャービジネス論(1T) /MOT and Venture Business (1T) (3)Developing Designing Ability(前期/1 st Semester) *(1), (2), (3)のいずれか Please select either one of (1), (2), (3).
	工学系・情報科学プログラム / Informatics and Data Science Program	MOT とベンチャービジネス論(1T) /MOT and Venture Business (1T)
大学院統合生命科学 研究科 Graduate School of Integrated Sciences for Life	全プログラム共通 / Common to all programs	※原則として、「Developing Designing Ability (1 st Semester)」を必修とする。 ※In principle, the "Developing Designing Ability (1 st Semester)" course is compulsory.
大学院医科系科学 研究科 Graduate School of Biomedical and Health Sciences	全プログラム共通 / Common to all programs	英語論文修辞学(前期) English Rhetoric & Writing (1 st Semester)

※上記以外のプログラムに所属する学生は、「Developing Designing Ability(前期/1st Semester)」を必修とする。
Students in programs other than those listed above should take the 'Developing, Designing Ability' course.

※ 事前コア科目『Developing Designing Ability』及び上記科目の履修が難しい方は別途お問い合わせください。
If you have any difficulties taking Core Subjects “Developing Designing Ability” or the above courses, please contact us.

2024年度(冬期)海外インターンシップ受入(可能)機関リスト

2024.9.18

派遣国	企業/機関名	受入対象分野	研修・研究テーマ等	研修実施期間	派遣可能人数	言語	宿泊施設	機関所在地	備考
カンボジア	メコン大学日本語ビジネス学科(CMU)	日本語教育, 日本文化, 芸術分野, スポーツ教育等, ※学生の専門に応じて調整	日本語教育の実践, およびカリキュラムの作成。 ※音楽教育(ピアノあり), スポーツ, 日本舞踊, そろばん, 書道教育, 数学教育, 服飾学, 栄養学, 栽培学, 調理学, ITプログラミング, 会計学, 生物学, 機械工学等の分野が得意であれば, 特別講座を設けることも可能	2ヶ月-1年間	4-5名程度	日本語(日本語能力がN1or N2程度以上), 英語, (現地クメール語話者歓迎)	大学寮又は近隣ホテル	プノンペン	教員の一人として大学生を指導。指導や学生との交流を通して, インターンシップ院生の研究課題を深める。ピアノを使った指導活動ができる人歓迎。
フィリピン	特定非営利活動法人IMAGINUS(イマジンナス)-フィリピン事業	コミュニティ開発, 教育開発, グローバル人材育成, 職業技術訓練, ソーシャルビジネス, マーケット調査, ツーリズム, カカオ/チョコレートビジネスの立上げ	コミュニティ開発, 教育開発, 職業技術訓練, ソーシャルビジネス, マーケット調査, ツーリズム, 環境, SDGs, 農林水産業, 伝統建築, カカオなど商品作物のサプライチェーン, 商品化など	随時	2名	英語	35,000円/月(朝食込み)	ザンボンギタ(ネグロス島)	*別途サポート費用が必要:35,000円/月 http://imagnus.jp
フィリピン	イフガオ州立大学(IFSU)	農業; 先住民研究; 心理学; 教員養成; 刑事司法教育; トランスナショナル教育(TNE); 世界農業遺産(GIAHS); ユネスコ世界遺産; 社会生態学的生産ランドスケープ(SEPLS)/里山的ランドスケープ		選考後, 調整	若干名	英語	ゲストハウス	イフガオ	インターンシップ中の支援のための人材提供; ゲストハウス, 現地移動の手配サポート可 https://www.ifsu.edu.ph/
フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	教育開発	教育開発	最長6か月まで	若干名	英語	ユニバーシティ・ホテル ※宿泊先の手配可能	ケソン	
ネパール	FORWARD	開発科学, 環境・農林業, 社会システム科学	農林業, 気候変動, 幼児の栄養問題, 災害リスク削減	夏期・冬期(1-2ヶ月程度) ※モンスーン時期については要相談	2名程度	英語・ できればネパール語	15-25ドル程度/日(幹旋あり)	チトワン	https://www.forwardnepal.org/ フィールドに出る際には車高借り上げとなり自費負担となる。 借り上げ料金:¥4,000-5,000/日 *ネパール西部は危険レベル3なので要注意
スリランカ	ケラニヤ大学	産業システム工学, 情報技術, 技術管理, データサイエンスと分析, 人工知能, 政策分析, 起業家精神, ソフトウェア工学, 情報システム, 輸送および物流システム, 廃棄物管理	持続可能なシステム工学	3か月程度	10名程度	英語	大学所有のゲストハウスや大学の国際課が手配する宿泊施設の利用可能(人数・期間による)	コロンボ	www.mit.kln.ac.lk
スリランカ	コロンボ大学	研究インターンシップ(1か月~3か月): 植物科学, 動物学, 環境科学, 化学, 物理学, 核科学, 統計, 数学的モデリング/さまざまな分野のシミュレーションモデリングの分野。大学教地内または(現場)調査型インターンシップ(1ヶ月程度): 農村コミュニティでの社会経済調査, 紛争地域への対処, 環境問題に関するコミュニティの視点など。主にフィールドベース政府/非政府組織, 民間機関での職場体験を伴うインターンシップ(最短2週間から最長1ヶ月)		1-3ヶ月程度(テーマによる)	5名程度	英語	大学近辺のホテル, ゲストハウス。現地調査が必要な場合は, 現地への移動と宿泊先の手配可能	コロンボ	
スリランカ	ウバ州社会福祉局(保護観察・児童福祉)	社会福祉, チャイルドケアと開発, 社会問題分析(特に農村, 不動産, 半都市および都市セクター), チャイルドケアセンター		3か月程度	5-20名程度	英語	宿泊施設のアレンジ可能	バドゥーラ +K13:01L13:013	現地移動のサポート可能 https://probationdept.up.gov.lk/
オーストラリア	エネルギー・環境・気候対策省(DEECA)アグリカルチャー・ビクトリア・リサーチ部門(AVR)	農学と穀物の品質(例えば, 補完的タンパク質源としてのパルスタンパク質)	パルス・プロテイン:実験室での実験と報告書の作成。また, オーストラリア穀物遺伝子バンク(AGG)を含むグレイン・イノベーション・パークで行われている農業研究に触れるため, 現場見学も行う。	3ヶ月程度	1名	英語	研究施設近くの宿泊施設の手配支援可能(例えば, 家具付き家の一室, 等)	ホーシャム	プロジェクト運営に必要な物品をサポート(作業机, 研究室の消耗品, ITサポートなど), 研究施設近くの共同宿泊施設探しの支援。 https://agriculture.vic.gov.au/
在外事務所	JICA事務所	国際協力・開発援助	受入事業所による	受入事務所による		※国籍は不問とするが, 日本語能力試験 N1 レベル相当の日本語能力を有することが望ましい。 ※JICA 専門家語学ガイドラインの C レベルの語学力を有すること			興味のある学生はJICAインターンシップサイトより, 別途応募が必要。 募集期間:2024年9月2日(月)~2024年10月1日(火)23:59(日本時間) (https://www.jica.go.jp/recruit/intern/index.html)
タイ	国際連合アジア太平洋経済社会委員会(UNESCAP)			随時, 但し2ヶ月以上		英語・フランス語	近隣ホテル(紹介あり)	バンコク	興味のある学生はUNESCAPサイトより, 別途応募が必要。 (http://www.unescap.org/jobs/internships/)

色塗りの機関は, 受入機関によって選考がありますなされる機関

2024年度 G.ecbo プログラム費用補助説明 / G.ecbo Program Financial Assistance 2024

必要経費/Necessary Expense		G.ecbo Internship Program / Follow-up Internship Program	備考/Remark
旅費 Transportation	自宅 ⇄ 西条駅/東広島駅 Your house ⇄ Saijo/Higashi-Hiroshima station	×	*日程確定後に大学指定業者へ連絡し、チケットを手配する *Contact one of the travel agents to which Hiroshima University can pay for air ticket directly after internship schedule is fixed.
	西条駅/東広島駅 ⇄ 国内空港 (JR) Saijo/Higashi-Hiroshima station ⇄ Airport in Japan (JR)	◎	【会計手続きに必要な書類/Necessary documents】 帰国後1週間以内に航空券の半券すべてを提出 Submit all airplane boarding passes within 1 week after your return to Japan.
	国内空港 ⇄ 現地空港 (Air) Airport in Japan ⇄ Overseas airport	◎	滞りホテルの費用概算(メールもしくはHP情報) Estimate for accommodation(email or HP information)
	派遣国内移動費 Transportation fee in the host country	★事務局協議要 Prior consultation required. 陸路での移動が難しい場合に限り、航空費を支給する。 例:インドネシア、フィリピン、ネパール (出発前の申請が必要) Airfare will be paid only if it is really difficult to travel by bus or train. ex. Indonesia, Philippines, Nepal	
宿泊・生活費 Accommodation, Living expense	宿泊ホテル代・現地生活費 (前泊・トランジット時の宿泊含む)	× 原則支給しない	
	Accommodation fee, Living expense (incl. transit hotel)	ただし、選考の結果優秀と認められた応募学生については、滞在費の一部をプログラムから支給する。 研修期間 (1~30日):5万円まで " (31日~):8万円まで ※移動期間は研修期間に含まない。 × Not Provided in principle.	However, those students who are evaluated excellent in the selection will be provided a part of living expenses from the Program. Internship period (1-30 days): up to 50,000 yen " (over 31 days): up to 80,000 yen *Travel period is not included in Internship period.
保険 Insurance	海外旅行保険費用 Overseas travel insurance	×	
	学研災 Gakkensai	◎ 大学負担にて加入済 / Already Paid by Univ.	
	学研賠 Gakkenbai (Liability Insurance) (申請時に加入しておくこと)	×	
ビザ Visa	ビザ費用 Visa acquire expense	×	
	ビザ取得のための費用 (領事館への交通費・手数料) Other expenses such as transportation fee to the Consulate General	×	VISA申請を旅行会社に依頼した場合には手数料がかかります If you choose to request a travel agency to apply for a VISA, a certain amount of fee will be charged to you.

◎:全額補助/Full amount paid by Univ. ×:自己負担/Responsible for all expenses.

※ 研修期間とは実習開始日から実習終了日を指します。Please note that internship period counts from the beginning date until the last date of internship.